



# 浅水ふれあいセンターだより



平成25年度16号  
 発行 平成25年12月17日  
 発行責任者：センター長  
 ☎ 0220-34-2008

## コミュニティ移動研修 近隣の文化財を見学！

11月23日(日) コミュニティ移動研修(新小路区)は18名が参加して、登米市指定文化財「不老仙館」、元は狼河原村(現在の米川)の畠山家にあったものを明治39年(1906)に現住地(米谷 公民館 裏)に移したものである。嘉永5年(1852)畠山源兵衛のとき伊達13代慶邦公(楽山)が北部巡視の折りに、その宿泊のために狼河原村に建築されたものと伝えられている。明治38年(1905)佐藤家3代新助は、当年の凶作で困っている米谷の住民の救済事業として、この建物を買い受け移築し(住民に労務費を支払方法で救済した)たものと伝えられている。要した歳月は明治39年から41年までの3年間と伝えられている。



不老仙館の名前の由来は最初に建築されたのが狼河原村で、語呂が合うことと、歳をとらない縁起をかついで「おいのがわら村」とも呼ばれていたもので、そこから「不老仙館」の名がついたものである。武者隠しの通路や襖の書や絵・掛軸・額等は多くの著名人の作品があり、来訪者の中に「高松宮宣仁親王や大野伴睦(自民党副総裁)等の有名人が宿泊」しており、是非見るに値するものである。佐藤家は代々、米谷町政とかかわりが深く、仙北鉄道を作ったのも佐藤家であり、更に『宮城の誉』で知られている造り酒屋でもあった。を見学しその後、南三陸 入谷地区にある、ひこころの里「松笠屋敷」を見学しました。昼食は南三陸ホテル「観洋」で懇親会を出発時間まで行いました。

## 絵手紙教室を開催！



11月27日 受講者7名で講師先生の秋山清人さんにより、平成25年度絵手紙教室第13回を開催しました。今回の教室も、この時期ならではの野菜や果物等が題材となりましたが、最後の作品指導会ではユーモアのあるコメントが続出し思わず笑ってしまう教室となりました。

## (仮称)登米総合産業高等学校の概要について

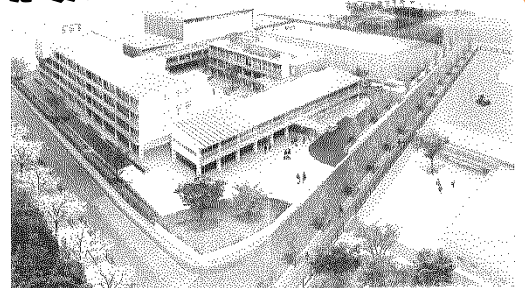
(仮称)登米総合産業高校の概要が出ましたのでお知らせします。

- (1)開校時期等 平成27年4月開校。 現在の上沼高校敷地内に設置
- (2)募集学科・募集定員 1学年240名
 

◆農業系学科・40名	◆商業系学科・40名
◆機械系学科・40名	◆電気系学科・40名
◆情報技術系学科・40名	◆福祉系学科・40名
- (3)学校の特長 720名の生徒数
 

○学科間連携による教育効果の拡大	○地域との強いパートナーシップ
○大学等との産学官連携	○実践的な教育の重視
- (4)教育活動の特色について
- (5)平成27年度入学生カリキュラムについて
 

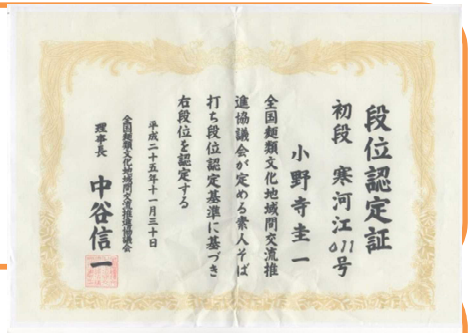
○専門教科:知識・技術を確実に身に付ける	○普通教科:基礎・基本の定着。希望進路に対応した編制。
○学校設定教科・科目の設置(案)	
・1年「産業基礎(案)」:職業の基礎となる知識・態度を学ぶ	
・2年「総合選択システム(仮称)」:他学科の科白を選択。視野を広げた学習。	
・3年「チャレンジ実社会(案)」:異なる学科の生徒同士による『グループ研究』	
・学校設定教科・科目については、インターンシップや長期校外実習<デュアルシステム> 起業家教育<アントレプレナーシップ>などの実践的な教育、大学等との産学官連携、学科間連携、地域との連携などの要素を含め、現在検討中。	
- (6)(仮称)登米総合産業高等学校登米地域パートナーシップ会議
- (7)合同行事 平成25年度入学生から「新入生オリエンテーション合宿」及び「生徒交流会」を上沼高校、米山高校、米谷工業高校の3校合同で実施。  
 など、これから中田地区から登米市発展に向けた、子供たちが育つことで大きな期待ができます。  
 又 通学に向けたバスも増便するなど、学校が出来る事での地域メリットも出ると思われます。



○福祉系学科の新設

## そば打ち教室の会員が初段を取得！

11月30日 全国麺類文化地域交流推進協議会が定める素人そば打ち段位認定試験が山形県寒河江市で開催されました。大会は関東以北から参加して行われ、浅水ふれあいセンター「そば打ち教室」会員の小野寺圭一さんが初段を認定されました。登米市で段位の取得者は、吉鷹公久先生の2段と今回で2人目で、先生の指導と本人の努力の成果です。



## 男の料理教室を開催！

12月4日 会員7名が参加し、講師先生は「よっち坊」の織田先生/菅原先生により開催致しました。本日のメニューは・みそおにぎり ・たらの白菜の鍋 ・鶏のからあげ ・白菜とツナの和え物 ・デザートはりんごと、栄養バランスのよい(ま・ご・わ・や・さ・しい)米を主体に・野菜・芋類・魚介・海藻類等カラダに必要な栄養素をたっぷりと含んだ材料を全部取りいれたメニューを教えてくださいました。ワンポイントアドバイス ◎肉に、パインジュースを加えることにより酵素が働き早く柔らかくなる。(ま・ご・わ・や・さ・しい)の説明 ・ま・豆(豆腐) ・ご・ごま ・わ・わかめ(海藻類) ・や・やさい ・さ・さかな ・し・しめじ(きのこ)でした。 随時 入会できますよ！

## 子育て教室を開催！

12月6日 参加者20名で市民福祉課の及川技術主査と食改推進員の河原さん、小野寺さん、森田さんの指導により、米粉を使った《米粉ピザ》と《南瓜のスープ》を作りました。南瓜のスープは、材料をポリ袋にひとまとめにして輪ゴムで留め、お湯を張った鍋に入れておくだけで出来上がる簡単な方法を教えてくださいました。途中で、食改のみなさんによる食にまつわるマジックや、ピザが焼きあがるまで、栄養士さんから紙芝居を観ながら、虫歯にならないようにするお話をしていただきました。焼きあがった後は、自分で作ったピザとスープを、全員で試食して終了となりました。参加する子供たちが増えています！



## 文化財保存会 委員による地域の文化財探訪を実施！

12月5日 浅水文化財保存会 役員・委員 8名で浅水地域の文化財を探訪しました。目的は、地域の文化財を見て、来年度の事業に反映させることで実施致しました。地元でも、知らない文化財が多々あり良い探訪が出来ました。これから、・坂上田村麻呂関連や地域の氏神そして玉山館あと関連等系統を考慮した形等を委員が来年度に向けて検討しておくことで終了致しました。



## 避難所案内表示板を設置！

12月10日 浅水ふれあいセンター自主防災連絡協議会(浅水地区の区長)は子供たちや他の行政区の人が災害時に安全に避難するために、地区20ヶ所に避難所案内表示板を設置致しました。これは、登米市協働のまちづくり、地域交付金により実施致しました。



## これからの主な事業・行事

12月	1月
11日(水) 絵手紙教室	8日(水) 男の料理教室
12日(木) そば打ち教室 中級	10日(金) 浅水六十寿会新春のつどい
14日(土) 子どもクッキング教室	15日(水) 絵手紙教室
19日(木) 女性講座	16日(木) そば打ち教室(中級)
25日(水) 絵手紙教室	18日(土)~19日(日) 自然体験交流事業
	21日(火) そば打ち教室(初級)
	25日(土) 浅水コミュニティ新春懇談会
	28日(火) 子育て教室
	29日(水) 絵手紙教室
	31日(金) 移動研修 とうほく「蘭展」

